

2021年11月16日

三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社

ブータンにおける医療・健康データ事業の 検討調査の実施企業を募集

医療・健康データ事業を通じた保健医療体制の強化・魅力ある経済機会の創出

三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社（以下、MURC）は、ブータンにおける医療・健康データ事業の検討調査（以下、本業務）の実施企業を募集します。本業務は独立行政法人国際協力機構（以下、JICA）の「ブータン国山岳地帯の人口小国における産業育成戦略に係る情報収集・確認調査」（以下、本調査）の一環で実施するもので、採択企業は本調査を受注するMURCと共同で医療・健康データ事業の実施に係る検討を行います。本調査及び本業務を通じて、ブータン国内の保健医療体制の強化や魅力ある経済機会の創出を含めた戦略の立案を目指します。

1. 本業務概要

- ① 目的：ブータンにおける医療・健康データ事業の検討調査（事業実施のための検討項目洗い出し、システム全体開発と統合運用に関する中長期ロードマップ案の検討、Personal Health Record（以下、PHR）の開発計画、ブータン政府への提言等）
- ② 契約期間：2021年12月初旬～2022年1月中旬（約1.5か月）

2. 応募対象製品・技術・サービス

本業務では、JICAによる本調査の目的に合致し、本業務の実施を通じて、ブータンの開発課題の解決に貢献する製品・技術・サービスを有する企業を応募対象とします。JICAの本調査の概要、および医療・健康データ事業の目的・概要は以下のとおりです。

- 「ブータン国山岳地帯の人口小国における産業育成戦略に係る情報収集・確認調査」
- ブータンは、急峻な山に囲まれた内陸国であり、約70万の人口が九州と同程度の面積の国土に生活しています。市場規模が小さく人口が国土に点在し海外からの投資誘致が喫緊の課題となっています。本調査は、技術革新の活用を念頭に、国際競争力を有するブータン企業の育成や、外国企業・研究機関の投資を喚起する施策等を盛り込んだ産業育成戦略を検討・提言すること、および同戦略の実現に資する、JICAの協力候補事業を提案することを目的としています。これにより、企業成長や外国投資誘致等の障害となってきたブータン固有の地理的制約や人口規模等の条件を乗り越え、ブータンの若者等にとって魅力ある就業機会が数多く生まれてくる環境の創出を目指します。

➤ 医療・健康データ事業の目的・概要

ブータンにおいては、魅力ある就業機会が少ないこと等を背景に、特に高学歴者層を中心に若年失業率が高く、社会不安定化の大きな要因となっています。国王及び政府は、この状況を深刻視しており、雇用の受け皿となる魅力ある経済機会の創出を重要課題としています。ブータン政府は、技術革新やイノベーションの恩恵等を取り込み、知識経済に移行していくことを志向しており、第12次5ヶ年計画の旗艦プログラムの一つとして Digital DRUKYUL（デジタル・ブータン）プログラムを認定し、ICTを活用しての公共サービスのデジタル化や公共データの有効活用などを目指しています。さらに、ブータン政府は、21世紀経済ロードマップを策定中であり、2030年までに知識経済へ移行していくことを目指し、経済を抜本的に改革する方策を検討している状況です。こうした施策においては、特に、保健、教育、経済（ビジネス）の各セクターは、デジタル化によって大幅なサービス改善を期待できる重点領域とされています。

本事業は、デジタル技術やデータベースを整備し、これらを効果的に活用することにより、地理的条件等に起因する公共インフラの脆弱性を克服し、国民にとって不可欠なサービスの強化を図り、保健医療体制の改善や魅力ある経済機会等を生み出していくことを目的としており、特に、保健・医療分野をモデルケースとして、インフラ、人材、サービス等の開発を行うものです。

本事業がモデルケースとする保健・医療分野においては、医師、看護師、医療機関の不足に加え、急峻な地形等も妨げとなり医療サービスへの住民のアクセスが困難であること、医療技術水準が低く高度医療を自国で担うことが困難である等、課題が山積しています。例えば、道路へのアクセスがない山間部のコミュニティからの医療機関へのアクセスは大きな課題です。また、医療技術水準の低さは、医学部がないなど人材育成体制の脆弱さに起因しています。

かかる状況から、本事業では、ブータン政府が主導して開発を進める患者情報一元管理システム electric Patient Information System（医療データ、メディカルバンク）と連動する形で、健康データ（ヘルスバンク）、生体試料データ（バイオバンク）の3つのデータベースを統合的に整備し、データを活用した予防医療サービスの開発やサービス運営に必要な制度等の構築を行います。それにより、医療機関へのアクセスが困難な高山地域などの僻地の住民に対する未病対策・予防体制の整備などの保健医療サービスの強化、個別化医療・個別化ヘルスケアサービスといった質の高い医療の提供、及び医学・薬学等にかかる研究基盤の整備を目指します。

2022年度以降は、ブータン政府が、3つのバンクの統合のためのアーキテクチャの設計やヘルスバンクに係るシステムの計画、要件定義、開発、テスト運用等を進めていく意向を示しており、本調査は「ブータン政府が同事業の実施可否を判断でき、直ちに事業に着手できる状態」とすることを目標としています。

3. 業務内容

MURC が実施する本業務に対して、医療・健康データ構築事業および関連法規制整備の専門的・技術的見地から側面支援を行っていただきます。想定する業務内容は以下のとおりです。詳細な役割分担や調査内容は、随時 MURC と協議しながら進める想定です。

- ① 以下の②～⑥の活動を通じて得た情報をベースとした、本事業で開発すべき PHR システム・サービスの提案書の作成
- ② 下記に関する情報収集と情報整理

<ヘルスバンク（PHR）の検討>

- PHR システム開発と運用に係る概算コスト¹の試算
- ブータンでの持続可能な PHR サービス提供に係るビジネスモデルの検討

<全体システムとの相互運用性の確認>

- ヘルスバンクと他のバンクを統合して運用するためのインターフェースの課題の洗い出し。例えば、下記の項目について確認する。
 - ・ ePIS のシステムアーキテクチャに関する資料や内容
 - ・ 想定運用シーンに応じたシステム要件 等
- ヘルスバンクと ePIS を統合運用する際に、ePIS 側に追加的に必要となる要件の確認とそれに紐づくシステム開発と運用に係る概算追加コストの試算
- ブータンでの関連法規制（主に個人情報保護に関する法規制）の確認・分析と今後の制度整備に資する他国事例の情報提供

- ③ MURC が行う下記の調査に関し、専門的・技術的見地からの助言の提供。なお、助言に基づき MURC が調査した結果は全て採択企業に共有する

<ヘルスバンク（PHR）の検討>

- PHR を活用した未病・予防サービスのターゲット及び内容の検討（利用者のインセンティブ設計を含む）
- 現地での事業運営体制、人員計画・人材育成計画²に係る検討（現地にどのような専門性を持った人材を配置するか、開発監理を担当する部局はどこに設置すべきか等）
- 留意すべき点やリスク項目の洗い出し（個人の健康データの保管場所、保管期間等）

<全体システムの設計>

- 3バンクのシステム開発と統合運用に関する中長期のロードマップ案の作成（マイルストーン設定、フェーズ別スコープ定義等）

- ④ 現地政府機関や関係機関との面談への同席、必要に応じて助言の提供
- ⑤ JICA および MURC との打ち合わせへの同席、必要に応じて助言の提供
- ⑥ 本業務結果の取りまとめや報告書作成における、専門的・技術的見地からの助言の提供

※ 現地渡航の予定はありません。全て遠隔調査での業務実施を予定しています。

※ 想定工数：1 人月

4. 成果品

採択企業は業務の成果品として以下を提出していただきます。

- 本事業で開発すべき PHR システム・サービスの提案書

¹ 概算コスト試算の留意点：ブータンの財政規模に鑑み、徹底的なコストダウンを検討。本邦企業製品やサービスの活用をベースとする場合、ブータン政府が負担できる仕様に変更も検討。

² 現地の事業運営体制、人員計画に際しては、ブータン企業の活用等、ブータン人やブータンに拠点のある企業による維持管理が可能な仕様を検討する

5. 応募方法・選考スケジュール

応募締切：2021年11月26日（金）正午迄

上記期間中に提案書・見積書（PDF各1部）をパスワード付で添付し、以下の宛先までメールで送付願います。パスワードは別途ご送付ください。

送付先：

三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社
ソーシャルインパクト・パートナーシップ事業部
長谷川 yu.hasegawa@murc.jp
山形 rītsuko.yamagata@murc.jp

なお、提案書・見積書の様式に指定はありませんが、提案書には以下の項目を含めて記載下さい。

- ・ 会社概要（提案企業の連絡先含む（担当者名、電話、メールアドレス））
- ・ 本業務に関連する企業としての類似実績（PHRサービスの開発・運用、医療情報システム等との連携等）
- ・ 本業務に従事する者の経歴と類似実績
- ・ （該当する場合）国民IDと医療・健康データの紐づけに関する規制整備や制度設計の議論に関与した実績（実施国は問わない）
- ・ ブータンの開発課題に対する貴社認識
- ・ ブータンにおける医療・健康データ事業の将来展望に関する貴社見解
- ・ 「3. 業務内容」①～③に関する現時点の仮説、調査項目案等（必ずしもブータンの各種 Fact に基づいた提案である必要はなく、あるべき姿としての提案も歓迎）
- ・ ブータンにおいて、持続的にサービスの運用・保守管理を継続する可能性又はそれを判断するための基準

応募企業に対し11月30日（火）までに審査結果を通知します（提案書内に記載した連絡先に通知いたします）。

6. 応募資格

以下の要件をすべて満たす企業

- ① 日本国内または海外において PHR サービスやシステム開発の実績を有すること
- ② ブータンの開発課題に資する PHR の製品・技術・サービスを有すること
- ③ PHR サービスを実現するために必要な法規制・制度設計の知見を有していること（特に、欧州 GDPR 等、グローバルスタンダードに精通していること）
- ④ 日本国内の3省2ガイドライン、HIPPA 相当を参照したセキュリティ及び情報管理体制を有したデータベースプラットフォームを有していること
- ⑤ PHR システム上に蓄積したデータについて、利用目的、相手先について二次利用の同意を取得する仕組みを有していること
- ⑥ 反社会的勢力に該当しないこと
- ⑦ 提案内容が公序良俗に反していないこと

7. 評価項目

- ① 製品・技術・ノウハウ等の実績
- ② 「3. 業務内容」に規定する業務に関する提案内容、特に「ヘルスバンク（PHR）の検討」に関する提案内容

8. 留意事項

- ① 採択企業の選定理由、及び非採択企業の非選定の理由を開示することはできませんので、この点予めご了解ください。
- ② 提出物等により取得した個人情報は、審査および審査に関係するご案内、資料送付等に利用します。ご提供いただいた個人情報は、上記の利用目的以外で利用することはありません。
- ③ 弊社の個人情報の取り扱いに関する詳細は以下のリンクをご参照ください。
個人情報保護方針：<https://www.murc.jp/corporate/privacy/>

【本件に関するお問い合わせ】

三菱 UFJ リサーチ&コンサルティング株式会社

ソーシャルインパクト・パートナーシップ事業部/ Center on Global Health Architecture

長谷川、山形、牧之内、小山

〒105-8501 東京都港区虎ノ門 5-11-2 オランダヒルズ森タワー

E-mail：yu.hasegawa@murc.jp, ritsuko.yamagata@murc.jp